

九州大学北海道演習林の地衣類
— 地衣類研究会 2009 年度観察会採集記録 —
 大村嘉人*・竹下俊治**・久米篤*** (編)

Lichens of Ashoro Research Forest, Kyushu University - LSJ Field Excursion 2009
 Yoshihito Ohmura, Shunji Takeshita & Atsushi Kume (ed.)

九州大学北海道演習林は、北海道十勝平野の北部、足寄郡足寄町にある。面積は 3,713 ha、標高およそ 100 ~ 450 m の丘陵地にミズナラやカエデ、シナノキなどの落葉広葉樹林と、カラマツを中心とした人工林が広がっており、森林の生態や利用方法について研究したり、森林科学を学ぶ学生が実習をする場として管理されている(九州大学北海道演習林 HP より <http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/hokkaido/>)。

2009 年 8 月 9 日、地衣類研究会第 38 回大会に伴い、九州大学北海道演習林内において観察会が開催された。その際に採集された地衣類採集品、および観察会に先立って同年 7 月 14 日に行った演習林内の下見での採集品のリストを、参加者の協力を得てまとめたので、同定でき

た標本 90 点に基づいて 49 種を報告する。なお、これまでのライケン誌面上で生態写真が紹介されたことがない種については、写真および証拠標本があるものについて可能な限り掲載した。

演習林内における地衣類の採集地点を表 1 に示した。リストの配列は学名のアルファベット順とし、次いで和名、採集地点番号: 着生基物、採集者名の略号と大村の標本管理番号 (YO####) を示した。採集日は標本番号の後に * がついているものは 2009 年 7 月 14 日で、指示がないものは 2009 年 8 月 9 日である。標本の同定は採集者が行い、同定確認を大村が行った。引用標本はすべて国立科学博物館 (TNS) に保管されている。

表 1. 採集地点

地点番号	林班	緯度経度 (WGS84)	標高 (m)	採集月日 (2009 年)
1	3 林班 (モニタリングサイト 1000 周辺)	N43°15'49.5", E143°30'27.5"	330	7/14
2	6 林班と小班 (ナラ学術参考林)	N43°16'27.5", E143°30'25.4"	340	7/14
3	8 林班 (カラマツ見本林)	N43°16'22.1", E143°31'36.8"	170	7/14
4	7 林班	N43°16'44.3", E143°30'02.7"	340	7/14, 8/9
5	10 林班 (風倒見本林)	N43°17'49.0", E143°29'49.2"	240	7/14
6	19 林班 (自然林保全区. 三角地点近く)	N43°19'00.9", E143°30'34.8"	440	7/14, 8/9

地衣類目録

産地: 北海道足寄郡足寄町九州大学北海道演習林 (JAPAN. Hokkaido. Prov. Tokachi: Ashoro Research Forest of Kyushu University, Ashoro-cho, Ashoro-gun). 地点番号ごとの、林班、緯度経度、標高、採集年月日の詳細は表 1 参照。採集者略号 (略号の ABC 順): 久米篤 (AK), 間賀綾音 (AM), 雑賀大輔 (DS), 絹谷和子 (KK), 村山一将 (KM), 濱田信夫 (NH), 竹下俊治 (ST), 近芳明 (YK), 大村嘉人 (YO), 佐久間裕子 (YS).

1. *Anaptychia isidiata* Tomin トゲヒメゲジゲジゴケ.
 地点 1: ハリギリ, YO (YO6630*). 地点 4: ミズナラ, ST (YO6715). 地点 6: 倒木, DS (YO6730).

2. *A. palmatula* (Michx.) Vain. ヒメゲジゲジゴケ. 地点 4: ミズナラ ST (YO6716).
 3. *Anzia colpota* Vain. アンチゴケモドキ. 地点 2: ミズナラ YO (YO6638*). 地点 4: ミズナラ AM (YO6700), YO (YO6644*). 地点 6: 倒木 YK (YO6729).



* 国立科学博物館植物研究部. ** 広島大学大学院教育学研究科. *** 九州大学北海道演習林

4. *A. opuntiella* Müll.Arg. アンチゴケ. 地点4: ミズナラ YO (YO6647*).
5. *Calicium abietinum* Pers. クロヒメピンゴケ. 地点6: 枯木 YO (YO6666*).
6. *Caloplaca flavorubescens* (Huds.) J.R.Laundon ダイダイゴケ. 地点1: ハリギリ YO (YO6629*). 地点4: ミズナラ ST (YO6718).



7. *Cetrelia braunsiana* (Müll.Arg.) W.L. Culb. & C.F. Culb. トゲトコブシゴケ. 地点1: ミズナラ DS (YO6707), YO (YO6677).
8. *Cladonia ochrochlora* Flörke キツネゴケ. 地点4: 倒木 AK (YO6702).
9. *C. ramulosa* (With.) J.R. Laundon ヒメレンゲゴケ. 地点4: ミズナラ幹基部 YO (YO6675), 倒木 DS (YO6710).
10. *Collema subflaccidum* Degel. トゲカワホリゴケ. 地点4: ミズナラ YO (YO6676).
11. *Evernia esorediosa* (Müll. Arg.) Du Rietz ヤマヒコノリ. 地点1: ヤエガワカンバ YO (YO6635*).
12. *Flavoparmelia caperata* (L.) Hale キウメノキゴケ. 地点1: ヤエガワカンバ YO (YO6634*).



13. *Graphis scripta* (L.) Ach. モジゴケ. 地点4: ヤエガワカンバ KK (YO6699), NH (YO6703).

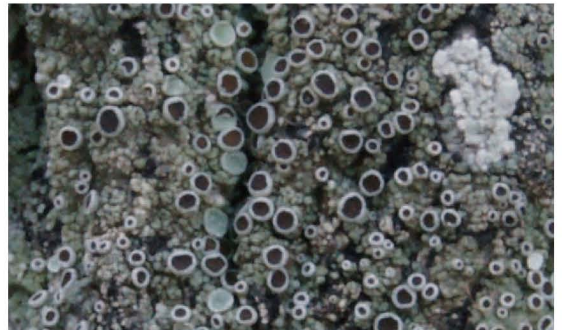
14. *Heterodermia hypoleuca* (Mühl.) Trevis. ウラジロゲジゲジゴケ. 地点4: ミズナラ ST (YO6717), 地点6: 倒木 DS (YO6731).
15. *H. japonica* (M.Satô) Swinscow & Krog クロアシゲジゲジゴケ. 地点4: ミズナラ ST (YO6714).
16. *H. microphylla* (Kurok.) Skorepa チヂレウラジロゲジゲジゴケ. 地点1: ハリギリ YO (YO6632*). 地点3: ヤチダモ YO (YO6641*).



17. *H. tremulans* (Müll.Arg.) W.L.Culb. ニセヤマゲジゲジゴケ. 地点4: ミズナラ YO (YO6653*).
18. *Hypogymnia subcrustacea* (Flot.) Kurok. イボフクロゴケ. 地点6: 倒木 YO & YK (YO6727).



19. *Lecanora chionocarpa* Hue チャシブゴケ属の一種. 地点1: ハリギリ YO (YO6628*).

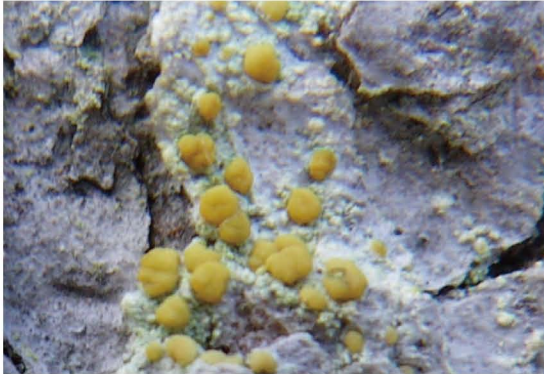


20. *L. megalocheila* (Hue) H.Miyaw. チャシブゴケ属の一種。地点4: キハダ KK (YO6696), YO (YO6684), ミズナラ切株 KK (YO6695), エゾイタヤ DS (YO6708).

21. *L. sibirica* Müll.Arg. モエギイボゴケ。地点1: ハリギリ YO (YO6627*), 地点4: KK (YO6698), ミズナラ DS (YO6706), エゾバッコヤナギ KK (YO6698), 地点6: バッコヤナギ YO (YO6658*).



22. *L. symmicta* (Ach.) Ach. チャシブゴケ属の一種。地点5: カラマツ YO (YO6656*).



23. *Leptogium burnetiae* C.W. Dodge トゲアオカワキノリ。地点2: ミズナラ YO (YO6636*).



24. *Lobaria japonica* (Zahlbr.) Asahina ツヤナシエビラゴケ。地点5: イタヤカエデ YO (YO6655*).



25. *L. orientalis* (Asahina) Yoshim. ナメラカブトゴケ。地点6: 倒木上 YO (YO6728).



26. *L. sachalinensis* Asahina カラフトカブトゴケ。地点5: イタヤカエデ YO (YO6654*).

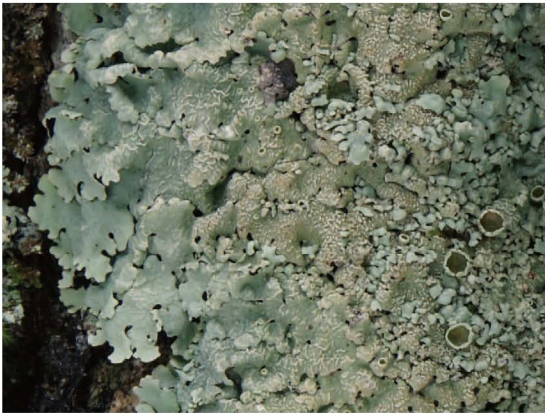


27. *Menegazzia terebrata* (Hoffm.) A.Massal. センシゴケ。地点4: キハダ YO (YO6685).

28. *Multiclavula mucida* (Pers.) R.H. Petersen シラウオタケ。地点6: 倒木上 YO (YO6667*). 生態写真は、

前号ライケン 16(2): 19 (2010) 参照.

29. *Myelochroa entotheiochroa* (Hue) Elix & Hale クズ
レウチキウメノキゴケ. 地点3: ヤチダモ YO (YO6640*),
地点4: ミズナラ YO (YO6646*), KK (YO6694).



30. *M. leucotyliza* (Nyl.) Elix & Hale ヒカゲウチキウメ
ノキゴケ. 地点4: ミズナラ YO (YO6680).

31. *Normandina pulchella* (Borrer) Nyl. ノルマンゴケ.
地点4: ミズナラ YO (YO6652*).

32. *Ochrolechia akagiensis* Yasuda アカギニクイボゴ
ケ. 地点6: 倒木蘚類上 YO (YO6726).

33. *O. yasudae* Vain. ヤスダニクイボゴケ. 地点4: ミズ
ナラ YO (YO6645*, 6649*).

34. *Parmelia praesquarrosa* Kurok. ナメラカラクサゴ
ケ. 地点4: ミズナラ ST (YO6713), YO (YO6681). キ
ハダ KM (YO6688), YO (YO6686). 地点6: バッコヤ
ナギ YO (YO6660*).



35. *Parmotrema chinense* (Osbeck) Hale & Ahti ヤマ
マツゲゴケ. 地点4: ミズナラ YO (YO6682).

36. *Peltigera praetextata* (Flörke ex Sommerf.) Zopf
チヂレツメゴケ. 地点4: ミズナラ倒木 AM (YO6701).

37. *Pertusaria commutata* Müll.Arg. ヒメトリハダゴケ.
地点4: ミズナラ DS (YO6705).

38. *P. composita* Zahlbr. キッコウトリハダゴケ. 地点4:
キハダ KK (YO6697).

39. *P. multipuncta* (Turner) Nyl. オオカノコゴケ. 地点1:
ハリギリ YO (YO6631*).



40. *P. quartans* Nyl. トリハダゴケ属の一種 (和名なし).
地点4: ミズナラ YO (YO6643*).



41. *Physconia detersa* (Nyl.) Poelt ハクフンゴケ属の一
種 (和名なし). 地点3: ヤチダモ YO (YO6642*).

42. *P. grumosa* Kashiw. & Poelt ハクフンゴケ. 地点
4: ヤマナラシ ST (YO6720). ミズナラ YO (YO6651*,
6678).

43. *Pyxine sorediata* (Ach.) Mont. コナクロボシゴケ.
地点4: バッコヤナギ YO (YO6659*). ミズナラ YO
(YO6679).

44. *Ramalina conduplicans* Vain. カラタチゴケ. 地点2:
ミズナラ YO (YO6637*). 地点4: ミズナラ KK (YO6692),
YO (YO6650*). 倒木上 YS (YO6724). 地点6: バッ
コヤナギ YO (YO6662*).

45. *R. roesleri* (Hochst. ex Schaer.) Hue ササクレカラ

タチゴケ。地点4: ミズナラ KK & YS (YO6693), YO (YO6648*).



46. *Tephromela atra* (Huds.) Hafelner クロイボゴケ。地点4: ミズナラ YO (YO6683).

47. *Usnea diffracta* Vain. ヨコワサルオガセ。地点4: ミズナラ KM (YO6689)。地点6: *Betula* sp. YO (YO6661*)。ヤチダモ YO (YO6665*)。倒木上 YO (YO6723)。

48. *U. pangiana* Stirt. ホンドサルオガセ。地点4: ミズナラ YS (YO6712), キハダ YO & KM (YO6687)。地点6: バッコヤナギ YO (YO6657*) *Betula* sp. YO (YO6663*)。ヤチダモ YO (YO6664*)。倒木上 YO (YO6722)。

49. *U. praetervis*a (Asahina) P. Clerc サルオガセ属の一種 (和名なし)。地点4: キハダ KM (YO6691)。

★★★★★ 会 員 通 信 ★★★★★

地衣学事始

地衣類研究会第39回大会でお世話になりました広島大学大学院教育学研究科の時澤味佳です。つたない研究発表を、真剣にお聞き下さり、貴重なご意見を頂きましたことに感謝いたします。

高校の生物の授業のときに初めて“地衣類”という生物がいることを知って5年あまりが経ちました。その後、地衣類が菌類に分類されることを知ったのは、まだほんの1年前のことです。そんな私が地衣類の研究を始めたのは、去年の秋ごろです。その頃は卒業研究の真っ最中で「屋外プールに生育する藻類の多様性に関する研究」という題目で、毎月学校のプールの藻類を調べていました。それと同時に、修士論文では何か他のテーマで研究してみたいという気持ちがわいてきました。指導教官の竹下俊治先生は、私の考えを聞いた後、川沿いに生育する地衣類の説明を楽しそうにしてくれました。私が「面白そう、やってみたい!」と思うのには、そう時間はかからず、先生の話に聞き入っていました。これが、地衣類に興味を持ったきっかけです。「流されやすい性格も時にはいいものだ」と、今になって思います。

地衣学の勉強を始めて、もうすぐ一年が経とうとしていますが、まだまだ初歩的などころで躓いてばかりです。地衣類を知って間もない頃「地衣かどうか見分けることができない」というのが私の悩みでした。岩上を白く染める珪藻、木の枝から垂れるコケ植物…様々なものが地衣類に見えました。地衣類らしきものを見つけたら、竹下先生に「これは地衣ですか?」という質問をしていました。最近はそのような質問も、おかげさまで減りました。今の悩みは、学名のスペルが書けない事、写真をきれいに撮れないこと、地衣の名前が分からないこと、検索がうまく出来ないこと…などです。その分、名前が分かったり、学名が書けたりするときは嬉しいものです。私にとって地衣の面白さは、こんなに身近に生育しているのに、目立たない生物だからこそ、改めて意識してみることで、期待以上のことを教えてくれるところにあります。現在は、広島県太田川の露岩で発見した岩内生地衣の研究をしています(写真1&2)。岩内生地衣とは、その名の通り、岩の内部に地衣体を持つ地衣のことで、共生藻の多様性の方面から研究を進めていきます。岩内という閉鎖的な空間において、地衣菌と共生藻がどのような関係にあるの